

令和7年（2025）9月 入域観光客数概況（確定版）

94万8,600人
対前年（R6）同月比 +11万7,700人、+14.2%
～9月としては過去最高～

【更新履歴】①令和7年10月27日速報版公表
②令和7年12月25日確定版公表

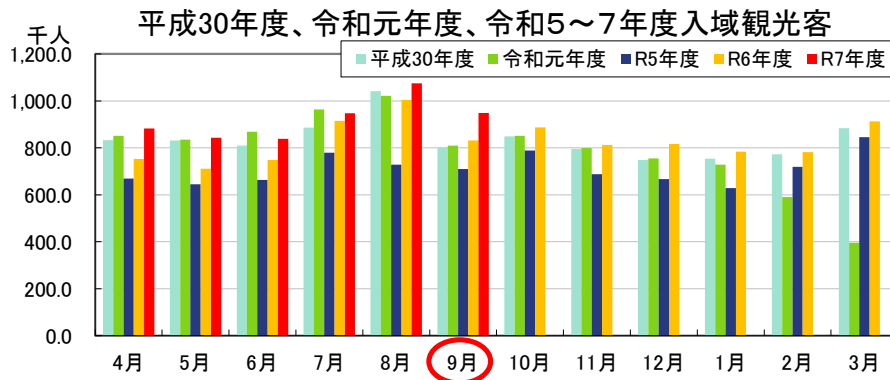
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、12月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H29年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H29年度
国内客	685,700 人	634,600 人	+ 51,100 人	+ 8.1%	72.3%	603,600人
空路	681,500 人	633,000 人	+ 48,500 人	+ 7.7%	71.8%	601,300人
海路	4,200 人	1,600 人	+ 2,600 人	+ 162.5%	0.4%	2,300人
外国客	262,900 人	196,300 人	+ 66,600 人	+ 33.9%	27.7%	233,500人
空路	173,200 人	125,400 人	+ 47,800 人	+ 38.1%	18.3%	146,200人
海路	89,700 人	70,900 人	+ 18,800 人	+ 26.5%	9.5%	87,300人
合計	948,600 人	830,900 人	+ 117,700 人	+ 14.2%	100.0%	837,100人

※外国客には、海路における乗務員等25,200人を含む。



国内客 入域状況

9月は、航空会社の増便・臨時便の運航や国内・県内発着クルーズの寄港があったことに加え、沖縄全島エイサーまつり(9/12～9/14)をはじめとした県内各地でのイベント開催等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	342,200 人	324,400 人	+ 17,800 人	+ 5.5%	49.9%
関西方面	147,300 人	132,700 人	+ 14,600 人	+ 11.0%	21.5%
福岡方面	85,600 人	75,200 人	+ 10,400 人	+ 13.8%	12.5%
名古屋	55,200 人	49,900 人	+ 5,300 人	+ 10.6%	8.1%
その他	55,400 人	52,400 人	+ 3,000 人	+ 5.7%	8.1%
合計	685,700 人	634,600 人	+ 51,100 人	+ 8.1%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	23,900	50%	13,700	53%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	9,600	20%	4,400	17%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,500	14%	3,600	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,300	3%	800	3%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	100	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,100	13%	3,300	13%	
合計	47,600	100%	25,900	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

9月は、台湾・韓国路線の輸送実績が順調であったことや、中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から前年同月を上回った。特に、台湾・韓国からの観光客は過去最多を記録し、外国客総数においても過去最多となった。

トピック ▶【台湾】タイガーエア台湾は那覇－台南路線(12月25日～)を週2便で新規就航予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	103,400 人	85,200 人	+ 18,200 人	+21.4%	39.3%
韓国	43,500 人	36,200 人	+ 7,300 人	+20.2%	16.5%
中国本土	56,200 人	28,800 人	+ 27,400 人	+95.1%	21.4%
香港	17,700 人	13,100 人	+ 4,600 人	+35.1%	6.7%
アメリカ	3,000 人	2,800 人	+ 200 人	+7.1%	1.1%
タイ	1,100 人	1,200 人	△ 100 人	△8.3%	0.4%
シンガポール	500 人	1,200 人	△ 700 人	△58.3%	0.2%
その他	37,500 人	27,800 人	+ 9,700 人	+34.9%	14.3%
合計	262,900 人	196,300 人	+ 66,600 人	+33.9%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等25,200人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	85,200 人	57,700 人	+47.7%	49.2%	18,200 人	27,500 人	△33.8%	20.3%
韓国	43,400 人	36,000 人	+20.6%	25.1%	100 人	200 人	△50.0%	0.1%
中国本土	19,300 人	10,900 人	+77.1%	11.1%	36,900 人	17,900 人	+106.1%	41.1%
香港	14,300 人	12,300 人	+16.3%	8.3%	3,400 人	800 人	+325.0%	3.8%
アメリカ	2,100 人	1,700 人	+23.5%	1.2%	900 人	1,100 人	△18.2%	1.0%
タイ	1,000 人	1,100 人	△9.1%	0.6%	100 人	100 人	0.0%	0.1%
シンガポール	300 人	1,000 人	△70.0%	0.2%	200 人	200 人	+0.0%	0.2%
その他	7,600 人	4,700 人	+61.7%	4.4%	29,900 人	23,100 人	+29.4%	33.3%
合計	173,200 人	125,400 人	+38.1%	100.0%	89,700 人	70,900 人	+26.5%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等25,200人を含む。

外国客の地域構成比

